

2024 年度ゼミ（演習 1）要覧

担当者名	紺屋あかり
演習テーマ	海と人の共生について考える
演習の内容	文化人類学の視点から、海と人との共生のあり方について考えます。リゾート開発、米軍基地移転工事、さらには地球温暖化などの影響を受けて、沖縄の環境は大きく変化しています。例えば、絶滅危惧種であるデュゴンや珊瑚礁が生育できなくなったり、自然浜が人工浜に置き換わることによる侵食などの被害を受けています。またそれらは、オセアニアをはじめとする世界各地の島嶼地域が同様に抱える問題であります。このゼミでは、おもに沖縄とハワイを事例に、海と人の関係とその変化について、現地に暮らす人々の声をはじめ、様々な観点から考察をすすめていきます。
テキスト・参考書	上間陽子 2020『海をあげる』筑摩書房. ハウナニ=ケイ トラスク 2002『大地にしがみつけ—ハワイ先住民女性の訴え』春風社. 他
成績評価の基準	レポート 70%, 授業内の発表など 30%
校外実習	(実施する、実施しない)
校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額	沖縄・名護市大浦湾周辺集落での聞き取り・生態調査を行う。 ・3年次の秋学期に実施（校外実習 B）する ・費用は 15 万円前後を予定している
選考方法	定員を超えた場合には小論文に基づいて選考を行う。
小論文（テーマ、書式・枚数、提出期限・方法）	小論文（このゼミで考えたいこと、ゼミに関連したテーマで関心を持っていること、最近読んだ本など）。500 字程度/ 書式自由。締め切りは 5 月 26 日（日）23:59 まで。提出は manaba のレポート機能から（第一次募集申込と合わせて提出してください。申込用紙とは別途ファイルに小論文を作成してください）。
メールアドレス	konya@k.meijigakuin.ac.jp
説明会・オフィスアワー	説明会は、5 月 16 日（木）お昼休み 8 号館 4 階セミナー室 OH は、毎週月曜日のお昼休み（メールでの事前予約制）
履修済・履修中であることが望ましい授業	文化人類学、オセアニア地域研究
2025 年度に在外研究等で演習を開講しない可能性	(あり、なし) 但し 2026 年度以降は予定あり。
備考	